

ミニレター
あぜみち通信

平成19年1月1日
73号

編集・発行：愛知県農業会議

◎ 新年明けましておめでとうございます。読者の皆様にとって平成19年（2007）が素晴らしい年となりますよう心から祈念いたします。

◎ 1年の計は元旦から

今あなたは、年末年始の休暇を終え出勤されてこのミニレターをご覧いただいていることと思います。

家族そろっての団らんはいかがでしたか、普通の暮らしをしておれば家族の団らんは当たり前でしょうが、世の中にはその一家団らの楽しさを知らずに寒さや飢えに凍える人達が大勢居ることも事実です。

そこで提案ですが、今年一年で何か世の中のためになることをしてみませんか、どんなことでも良いですからやり通してみませんか、きっと素晴らしい一年とそれこそ輝かしい未来が訪れると思います。

筆者の近所のAさんは、若い頃から家の廻りを清掃され、塵一つ落ちていないきれいで爽やかな生活をしています。もちろん仕事を持ち、農業もこなされています。最近年齢80となり、若干腰も曲がりましたがそれでも家の廻りの清掃は欠かさず実行されています。この家の近所となりの人達がこのおじさんに見習って家の廻りの清掃をするようになり、とても気持ちよく暮らされています。

誰にやれと言うでもなく、一人でコツコツ積み重ねる姿に近隣の人達は何かを感じたのでしょう。

やり通すことは大変エネルギーが必要だと思いますが、年頭に当たって一念発起してみてはいかがでしょうか。

◎ 農林水産大臣賞は豊山町の安藤和彦氏

今年度の優良農業委員表彰は、西春日井郡豊山町の安藤農業委員会長に贈られました。

お聞きしたところによると、昭和56年から農業委員として、厳正な農地法の励行、地域の担い手の育成等に尽力されたとのことでした。

栄えある受賞、誠におめでとうございます。今後も地域農業の発展と農業委員会活動の強化にご協力下さるようお願い申し上げますと共に、私ども組織の未熟者の育成をお願いいたします。

◎ 常任会議員会議（12月）の審議状況

12月14日開催された常任会議員会議では、知事諮問案件として農地法第4条に基づく転用事案37件17,329平方メートル、第5条に基づく転用事案277件253,600平方メートルが審議され、いずれも原案どおり許可することを相当と認め、答申しました。

この常任会議では、全国農業新聞の12月15日号を使って、日豪EPA・FTAに関する内容を中心に解説しました。また、先般開催された全国農業委員会会長代表者集会の成果等についてもおつなぎをいたしました。

農業委員会事務局の皆さん全国農業新聞を是非読んで下さい。

◎ 愛知県茶業振興大会と農大祭が融合

12月2日開催されたこの大会は、愛知県立農業大学校の大学祭に合わせて農大キャンパスにおいて開催されました。

当日は天気にも恵まれ、なおかつ土曜日であったため大勢の市民が訪れ、長蛇の列ができるほどでした。神田知事も出席され、大会前のひとときを多くの市民と談笑されました。

農大祭のにぎわいは、学生達が作った野菜や鉢物、それに畜産物の新鮮なものと、割安であることが大きな要因でしょう。また、この二つの事業のマッチングも大変見事と感じました。

茶業振興大会における特別賞の農業会議会長賞は、てん茶の部の豊田市石川龍樹さんでした。丹精込めて作り上げた素晴らしいてん茶でした。おめでとうございます。

◎ 18年度東海・北信越下期出版ブック会議

12月7日～8日にかけて全国農業図書をどのように売っていくと、その売り上げが伸びるのか、を中心に販売戦略のための会議が、新潟県胎内市で開かれました。

全国農業新聞と同様最近では売り上げが伸び悩んでいます。愛知県では対前年同期と比べて60%にとどまっています。これから年度末を控えていますので、各市町村の事業による購買力を期待しています、どうか一冊でも良いですから早めの注文をお願いします。

◎ 全国農業新聞の普及拡大総括（別紙1・別紙2）

全国農業新聞の普及拡大に対する締め切りが、11月27日でした。

これによりますと、別紙1・別紙2に掲載しましたとおり、18の農業委員会においてそれぞれの部門の基準を突破されました。格別のご協力に対しまして心からお礼申し上げます。

なお、今回この表に掲載されなかった各農業委員会におかれましても、力強いご支援ありがとうございました。

今後のご協力をよろしくお願いいたします。

◎ 愛知県水田農業構造改革推進会議開催

12月15日名古屋市内のKKRホテル名古屋において開催されました。この会議では「平成19年産米の市町村別需要量に関する情報」を決定しました。

各都道府県に対する情報についてはすでに新聞情報等で皆さんご承知のことと思いますが、各市町村別の需要量について決定したのがこの会議です。

コメに対する価値観が農業者や国民の間で大きく変化していますが、コメは日本人の主食であり、日本型食生活の中心を支える大切な食料であることを国民的な運動として、官と民が力を合わせて訴えていく必要があると思いませんか。

◎ 平成18年度農業感謝祭開催

12月15日熱田神宮において開催されたこの感謝祭は「農林畜産物品評会」と「感謝祭」が行われました。品評会には2,300点余りの出品があり、愛知県農業総合試験場長さんを始め、多くの審査員の厳正な審査により各賞が決定されました。

また、熱田神宮農業功労者顕彰式もおなじ神宮会館において開催され3人の方達に顕彰状が熱田神宮宮司より授与されました。愛知県農業会議常任会議員の西尾市農業委員会会長の杉浦 覚さんが顕彰されました。

なお、品評会における優秀賞の農業会議会長賞は鶏卵の部・高浜市の酒井正文さんに松平事務局長から授与しました。

全ての受賞者の皆様大変おめでとうございます。今後の地域におけるご活躍を心からお願いいたします。

◎ 食育に関する勉強会

12月15日アイリスあいちにおいて、愛知県稲作経営者会議が愛知県の食育推進課と食育に関する勉強会を開催しました。会員の出席は46人と食育に関心が高く、特に若手の出席者が半数以上を占めたことは特質ものです。

食育推進課の森本課長補佐との質疑応答では時間切れになるほど活発な意見交換がなされました。

会員の間でも体験農業を実施しているが、その後の成果が全然農家に帰ってこない、とか学校における食育は時間が限られており、しかも先生にも食育に対する姿勢がバラバラでありあまり期待できないのではないかと、との意見があった。食育は家庭教育の中で取り組む事柄なのではないかと等議論百出であった。中には車を運転しているトラックドライバーにもっとマナーを守るようにしないと田んぼにゴミがたまって困るし、子供達が見てこれをまねをするのが今後恐ろしい、とのユニークな意見もありました。

◎ 愛知県内で農林1課の会計実地検査

来年2月5～9日に実地検査が愛知県内で実施されます。平成17年度から実施した担い手関係についても対象となっています。農林1課は広範囲の検査を実施しますので十全の対応が必要です。

◎ **平成19年度農業委員会関係予算**

12月24日政府は来年度予算について閣議決定をしました。前年比4.0%増の総額82兆9,088億円と2年ぶりの増額となりました。

農林予算は、対前年比96.2%の2兆6,716億円となっています。

農業委員会交付金は47億7,617万9千円で、前年度と同額となりました。

この他の予算の内容につきましては年明け早々には資料として、各農業委員会に配布する予定にしていますので、資料の内容をよく検討され、新規事業に取り組む等の前向きな対応を期待しています。

以上の予算案については、来年開かれる通常国会の審議を経て決定されることとなりますのでご承知置き下さい。

◎ **愛知県担い手育成総合支援協議会が各地で経営管理能力向上研修会**

11月17日の碧南市を皮切りに来年の1月16日豊川市まで、延べ14会場においてスペシャリスト（公認会計士・税理士・社会保険労務士・弁護士）の先生方に講師をお願いし「上手に儲けるにはどうする」「気持ちよく働いてもらうには」等の演題のもとに研修会を実施しています。研修会終了後は、個別による「経営相談会」も開催して好評です。普通に相談に行けば有料ですが、愛知県担い手育成総合支援協議会が負担しておりますので各農家には負担をかけませんので、これを機会に相談されてはいかがでしょうか。

◎ **愛知県農業総合試験場と名古屋大学が研究協力**

愛知県の農業総合試験場と名古屋大学大学院生命農学研究科が相互の発展と、地域における学術の発展及び農業の振興を図るため、研究協力に関する協定を締結することとなりました。

協定調印式は来る1月19日に実施されることとなっています。

◎ **愛花協だより（知事お祝いメッセージ、会長色紙贈呈）**

名古屋市 荒川元博さん・征子さん 12月10日 挙式

幸田町 稲吉勉さん・千賀さん 12月16日 挙式

ご結婚おめでとうございます、一層のご活躍とご多幸を祈ります。

◎ **今後の主な行事予定**

1月 4日（木）仕事始め

1月 6日（土）愛知県漬物振興祭（熱田神宮神楽殿）

1月 15日（月）常任会議員会議（白壁庁舎）現地調査（小牧市・北名古屋市）

1月 17日（水）女性農業委員研修会（アイリスあいち）

1月 23日（火）農と暮らしの研究大会（愛知県立農業大学校）